

保健医療計画（地域編）の見直しについて（論点メモ）

1 見直しのポイント

現行計画における評価調書をベースに、これまでの取組状況や新たな課題等を踏まえ、二戸医療圏域での医療連携体制の構築における重点課題を選定し、今後の対応について検討する。	第1回会議
---	-------



（重点課題について） 現行の保健医療計画（地域編）に記載の3項目を踏襲することを基本とし、これらに新たな課題である新興感染症や在宅医療等に係る取組内容を加え記載する。	第2回会議
--	-------

2 進め方

第1回会議（9月13日（水）18：30～20：00） 内容：次期保健医療計画の見直しのポイント 圏域の重点課題の把握及び取組状況 公立病院経営強化プラン見直しのポイント
第2回会議（12月中旬～下旬） 内容：次期保健医療計画（素案） 保健医療計画（地域編）案 介護保険事業計画との整合性の確保のための調整 公立病院経営強化プラン（素案）
第3回会議（1月中旬～2月下旬） 内容：次期保健医療計画（最終案） 地域医療構想に係る具体的対応方針の検証・見直し・策定内容のとりまとめ

3 現行保健医療計画のポイント

（1）現行計画の重点課題

○ 二戸保健医療圏における保健医療計画（地域編）について （現行の重点課題）

①医療と介護の総合的な確保の推進

（主な取組：カシオペア市民フォーラム、カシオペア地域医療福祉連携研究会活動）

②生活習慣病の予防対策の推進

（主な取組：若い世代・働く世代への啓発、早期発見・早期受診の啓発、食育推進事業）

③医師等医療従事者や介護従事者の確保による医療・介護体制の充実

（主な取組：中学生医療現場体験・出前講座、ふれあい看護体験、医療局・大学等への働きかけ）

（圏域の死因別年齢調整死亡率県内ワースト順位：R2）

悪性新生物⑥（224/288.1 県291.9）肺がん②（46/57.7 県53.8）

胃がん⑨（17/19.7 県33.1）大腸がん①（50/66.8 県49.8）

乳がん③（10/25.7 県23.1）子宮がん②（4/12.3 県10.3）

心疾患⑥（136/153.9 県157.4）脳血管疾患⑤

（103/119.0 県110.5）肺炎⑤（52/55.4 県48.0）

自殺②（11/23.4 県20.4）

※（ ）内は死亡数／年齢調整死亡率 県年齢調整死亡率

(2) 見直しのための課題整理

1 医療と介護の総合的な確保の推進

- ・ 高齢化などによる通院困難者を地域でどう支えていくか
- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 在宅医療の推進のため、カシオペア NET の活用推進、医療機関等の参加促進

2 生活習慣病の予防対策の推進

- ・ 生活習慣病の年齢調整死亡率などの指標は、全国平均と比較して依然として高いものの減少傾向
- ・ 対策は予防に尽きる、検診受診率の向上及び保健指導の推進、生活習慣病の悪化防止
- ・ 小中学校及び高等学校の肥満傾向の児童・生徒の出現率が、ほとんどの調査対象学年で県平均を上回っている

3 医師等医療従事者や介護従事者の確保による医療・介護体制の充実

- ・ 圏域の医療機関に勤務する医師数は、H29→R2：111.4人→119.3人（人口10万対207.8→237.3人）9圏域の中2番目に多いが、県平均を大きく下回っており医師確保が課題（常勤医ベース80人→84人）
- ・ 看護職員は、看護師数H29→R2：387.7人→409.6人（同723.4人→814.8人）9圏域中4位、准看護師数：66.6人→63.1人（同124.3人→125.5人）9圏域中8位、医療提供体制の確保上の課題
- ・ 診療科別では、常勤医の少ない診療科、常勤医のいない診療科
- ・ 圏域のリハビリテーション実施体制が課題

4 二戸圏域地域医療連携会議・二戸構想区域地域医療構想調整会議における協議のポイント

テーマ「二戸保健医療圏における地域医療の課題と今後の取組」
～保健医療計画（地域編）の見直し～

論点 医療と介護の総合的な確保の推進

例：在宅医療、医療介護連携

論点 生活習慣病の予防対策の推進

例：5疾病における課題への取組み

5疾病：がん 脳卒中 心筋梗塞等の心血管疾患 糖尿病 精神疾患・認知症

論点 医師等医療従事者や介護従事者の確保による医療・介護体制の充実

例：医療従事者の確保のための様々な取組み、住民への啓発